



いしかわ労福協

第 516 号 2011年1月25日

発行所 石川県労働者福祉協議会
 発行責任者 上田 弘志
 編集人 上野 貞彦
 〒920-0024 金沢市西念3丁目3番5号
 電話 (076) 231-1737
 FAX (076) 231-1731
<http://www.ishikawa-rofukukyo.jp>
info@ishikawa-rofukukyo.jp
 毎月1回 25日発行
 定 価 一部 20円
 昭和39年3月30日 第三種郵便物認可

謹賀新年



河口湖からの富士の日の出／井戸岡治 撮

暮らしの 総合サポートセンターの 充実をめざして

石川県労働者福祉協議会
理事長 上田 弘志



新年あけましておめでとうございます。

昨年も自治体や労働団体、事業団体をはじめ、関係各位のご支援・ご協力に心から感謝申し上げます。石川労福協はこの1年、全国に先駆けて設立しました「ライフ・サポートセンター」の活動をさらに充実するため、「子育て支援」「福祉相談」「就業支援」などをトータルにとらえ、勤労者、県民の「暮らしの総合サポートセンター」として、生活と福祉の向上をめざして活動を展開してきました。しかしながら、デフレ環境から脱却できない経済状況や厳しい環境下にある雇用情勢の中、「共助・共生」の実現に向けた石川労福協としての役割も重要となっています。

さて、わが国経済はリーマン・ショックによる世界同時不況から、大きく落ち込んだものの、堅調な輸出に支えられ、ここにきて回復の兆しを強めています。しかし、各国の自国通貨安への誘導施策によって想定を超える円高が進行し、また一

方で金融破たんによって、デフォルト寸前まで追い込まれる国が発生するなど、先行きへの不透明感が強いものとなっています。一方、労働者の雇用・生活は進行するデフレ経済の下で、改善に向かう動きが足踏み状態にあり、雇用情勢は依然として厳しく、失業率は5%台と高止まりしています。

2011年は「無料職業紹介事業」「福祉なんでも相談事業」を実施することのほか、「緊急サポート事業」の自治体へのスムーズな移行に取り組み、さらに里山里海保全ボランティア活動とエコキャップ運動を実施し、地域貢献、社会貢献に力を注ぎ、「目に見える労福協、行動する労福協」をモットーに活動を展開していきます。今こそ、「連帯と相互の支え合い」という協力原理が活かされる社会、ぬくもりある思いやりの社会が大切であり、人とくらし、環境に優しい福祉社会を実現すべきです。

すべての働く人たち、退職者・高齢者との連携を図り、労働者福祉活動の充実、生涯福祉の向上をめざし、石川労福協を構成する連合石川・労働組合や労働金庫、全労済、労信協、生協連、勤体協、勤文協、さわやかUの皆さんと共に、「くらしの総合サポートセンター」として、地域社会に貢献する「石川労福協、ライフ・サポートセンター」をめざします。関係各位の皆さんのご理解とご協力ご奮闘を重ねてお願し、新年の挨拶とします。

石川労福協・連合石川共催

「2011新春の集い」



上田弘志
石川労福協理事長
連合石川会長

上田弘志石川労福協理事長・連合石川会長が、「若者が、安定して働き、老後まで安心して暮らせる『働くことを軸とする安心社会』の実現に向けた考え方を活動の根底とし、一つ目は「構成組織・単組が共闘して総合力を発揮し、非正規雇用労働者の処遇改善をも呼びかける社会的な2011春季生活闘争を取組む」、二つ目は「第17回統一地方選挙において連合石川が推薦する候補者の当選を組織の総力を挙げて期す」、三つ目は「不安定な経済状況下で、危機の状態にある雇用、勤労者県民の生活防衛に向けて、石川労福協は、就業支援『無料職業相談所・ジョブいしかわ』、『福祉なんでも相談』を含めた『暮らしの総合サポートセンター』として地域社会に貢献する『石川労福協』を目指す」、また、労働運動の本来的な存在意義の発揮こそ、私たちに期待されているものであり、変わることを恐れず、様々な課題に果敢に挑戦していく。今年も変わらぬ皆さんのご協力をお願いします。」と挨拶した。

主催者挨拶に続き来賓の谷本正憲石川県知事、渡辺英俊石川労働局長、山野之義金沢市長、奥田建衆議院議員・民主党石川県連副代表、宮下登詩子石川県議会議員・社民党石川県連合代表の挨拶の後、宮下亮石川労福協専務理事の発声で乾杯となった。

続いて、金原博新進石川会長(石川県議会議員)、北尾強也弁護士(連合石川法曹団代表)、田中美絵子衆議院議員、近藤和也衆議院議員からのスピーチの後、石川県教職員組合員で構成する「たみ(鼓

石川労福協と連合石川共催の「2011新春の集い」は、1月5日(水)金沢市内の金沢都ホテルで開催された。石川労福協としては8回目となる「新春の集い」には、来賓や福祉事業団体、地域ライフ・サポートセンター、連合石川、地協の役職員など約250名が出席して行われ、依然として厳しい雇用環境の中、無料職業紹介「ジョブいしかわ」や福祉なんでも相談活動の推進と緊サボ事業のスムーズな移行、ライフ・サポートセンター運動、2011春季生活闘争と第17回統一地方選挙の勝利に向けて決意を新たにされた。

来賓祝辞



谷本正憲石川県知事



山野之義金沢市長



渡辺英俊石川労働局長



奥田建(衆議院議員) 民主党石川県連副代表



宮下登詩子社民党石川県連合代表

民)」の和太鼓演奏により宴が盛り上がり、第17回統一地方選挙の立候補予定者21名が紹介されステージに並びそれぞれ決意表明をした。



金原博新進石川会長



北尾強也弁護士



田中美絵子衆議院議員



近藤和也衆議院議員

上田連合石川会長は、ステージの立候補予定者と共に、今年の春闘や統一地方選挙の勝利に向けて『必勝ガンバロウ』を三唱した。

最後に、光林邦彦連合石川副会長が閉会挨拶を述べて新春の集いを終え、2011年の活動がスタートした。



和太鼓グループ「たみ(鼓民)」の皆さん



「必勝ガンバロウ」を三唱する上田会長と立候補予定者

第 5 回 理 事 会

12月20日(月)フレンドパーク石川において、石川労福協第5回理事会を開催した。

理事会では、活動報告の後、現状に即した労福協人事委員会要綱とするための改定(案)が示された。次に、新公益法人移行については「一般社団法人」への移行が確認された後、これに対応する定款変更(案)の検討を進めることとした。

また、緊急サポートネットワーク事業がスムーズに各自治体のファミリーサポートセンターに移



行でき、事業の廃止へと進むよう1月に関係自治体を訪問し、受入体制の調査と意見交換を行うことなどが確認された。

食とみどり、水を守る全国集会、 同いしかわネットワーク第5回総会

<全国集会>

12月10日(金)～11日(土)の日程で東京都内「日本教育会館」をメイン会場に「第42回食とみどり、水を守る全国集会」が全国から約700名の参加で開催された。

まず、メイン会場において開会の挨拶や、「食、みどり、水」を取巻く今日的情勢と運動の提起がされたのち、3つの分散会、翌日に6つの分科会が開かれた。



全体集会

参加した第3分散会「水・森林を中心とした環境問題」では、①高橋裕東京大学名誉教授が「地下水に恵まれた日本では、自然が涵養した地下水が無限のものではなく一度失われると復元不可能なものであることの認識がないに等しい。山間地で無尽蔵に汲み上げる商業利用などに危機感をもつ。」と警鐘を、②岡田秀二岩手大学農学部教授が「水や自然を守るには、山間地の森林を守ることに強いては林業を業いとして成り立たせねばならない。」と森林の重要性を、それぞれ訴えた。

翌日11日(土)に参加した第5分科会「白石農園の概要と市民体験農園の取り組み(フィールドワークその2)」では、東京都区内で農地が一番多い練馬区の市民体験農園(畑地)に出向き、練馬区役所



「風のがっこう」で講習する白石農園主

農業課長や白石好孝「大泉 風のがっこう(市民体験農園)」園主から、「農地がもつ防災機能など都市における必要性、市民体験農園の利用者(市民)が野菜を育てることで“食の大切さ”や“心の安らぎ”を受ける“農”の利点」について説明があった。

今回の集会によって、人間が地球で営みを継続する上で、欠くことのできない「食」、「みどり」、「水」は、大切な地球の恵みであり、子々孫々受け継がなければならないものであり、「食とみどり、水を守るいしかわネットワーク」の取組みの大切さをより一層強く感じるものであった。

<いしかわネットワーク第5回総会>



12月15日(水)全労済会館において、食とみどり、水を守るいしかわネットワークの第5回総会が協力団体代表者ら35名

の出席で開催された。

上田弘志代表が、「活動参加への感謝と協力団体拡大に対する協力を求める。」と挨拶のあと議案審議に移り全議案が承認された。

総会に引き続き、永坂正夫金沢星稜大学准教授が「河北潟における市民参加による水辺管理の実践」をテーマとして、河北潟の水質浄化にはヨシなど水生植物帯の再生・育成が効果的であるとして、その取り組みや成果の講演があり、総会を終了した。



講演する
永坂正夫金沢星稜大学准教授

訂正とお詫び

第515号(2010年12月25日発行)1ページの合祀された方のお名前に間違いがありました。次のとおり訂正しお詫びします。

(正)東昭男←(誤)東昭雄



「経営」、「資金」、「雇用」の
三つの安心の確保を
目指して

石川県知事
谷本 正憲

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては新春をご健勝でお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日頃から県政の推進に深いご理解とご協力を賜っておりますことに、本誌面をお借りして心から感謝申し上げます。

本県の経済・雇用情勢は、生産面では鉱工業生産指数が100を超えるなど全体としては持ち直しを続けているものの、その動きが弱まりつつあります。雇用面では依然として有効求人倍率が一倍を大きく下回っており、厳しい状況となっております。また、海外景気の下振れ懸念や円高など、先行きが不透明なところもあることから、まだまだ予断を許さない状況の中での年明けとなりました。

こうした中、県では、引き続き、関係機関とともに経営・資金・雇用の「3つの安心」の確保に向け、セーフティネットの拡充・強化など、経済・雇用に全力を挙げてまいりたいと考えています。

今後とも、経済・雇用情勢を注視し、時期を逸することなく必要な対策を講じるとともに、雇用情勢の悪化に伴う雇用・労働問題や労働条件等の解決についても、関係機関と連携を図りながら、積極的に取り組んでまいります。

また、貴協議会においては、無料職業紹介所(ジョブいしかわ)により、中高年層の未就職者や働く意欲のある高齢者等の就職支援に取り組んでおられ、関係各位のご尽力に感謝申し上げます次第であります。

この新しい年が皆様にとりまして、明るい展望の持てる年となるよう心からお祈り申し上げますとともに、県政に対する一層のご支援、ご協力をお願い申し上げ、新年のごあいさつといたします。



地方分権時代にふさわしい
自立度の高い市政をめざす

石川県市長会
会長 山野 之義
(金沢市長)

新年あけましておめでとうございます。輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

皆様方には、市政の推進に多大なご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、急速な円高の進行等により、景気が足踏み状態となるなど、先行きが不透明な状況が続く、雇用情勢も依然として厳しい状況が続いた一年でありました。

こうした中、私ども各自治体といたしましても、景気・雇用対策を最優先とし、国の施策に呼応した緊急雇用創出事業により新たな雇用を確保するなど様々な施策に取り組んできましたが、今後とも、市民生活の安定に最善を尽くしてまいりたいと考えております。

また、金沢市においては、4年後に迫った北陸新幹線の開業を控え、その効果を最大限とするため、戦略的かつ計画的に準備を進めることとし、金沢の新たな個性と魅力づくりや中心市街地における賑わいの創出のほか、国内外への金沢情報の発信等に従前にも増して積極的に取り組み、開業に向けて新しい金沢を創っていきたいと考えております。

石川県市長会としましても、地方分権時代にふさわしい自立度の高い市政をめざし、市民生活の安全・安心の確保や循環型社会の形成などの課題に、一生懸命に取り組んでまいりたいと考えております。

最後になりましたが、皆様方のご多幸を祈念いたしますとともに、本年も格段のお力添えをいただきますようお願い申し上げます、新年のご挨拶といたします。

新年おめでとう

石川県労働者福祉協議会役員一同

理事長 上田 弘志 (連合石川)

副理事長 嶋垣 利春 (北陸労働金庫)

理事 本田 和雄 (全労済)

理事 才田 徹 (労協)

専務理事 宮下 亮 (専従)

理事 坂本 哲治 (労協)

理事 表 重雄 (生協)

理事 山口 隆 (北陸労働金庫)

理事 水野 志郎 (全労済)

理事 狩山 久弥 (連合石川)

理事 山崎 勝博 (自治労)

理事 天満 信夫 (電機連合)

理事 柴田 康廣 (UIゼンセン同盟)

理事 柚木 光 (県教組)

理事 湊口 洋伸 (情報労連)

理事 西田 満明 (電力労連)

理事 中西 知郎 (電機労組)

理事 田村 隆三 (高教組)

理事 南 高広 (私鉄連)

理事 光林 邦彦 (JA M)

理事 奥井 良信 (JR)

理事 酒井 敏次 (運輸労連)

事務局長 上野 貞彦 (専従)

事務局長 谷内 英明 (専従)

アドバイザー 一明 政行 (専従)

アドバイザー 直江 圭祐 (専従)

事務局員 吉村 和実 (専従)

事務局員 紙谷 加奈子 (専従)

事務局員 吉田 寿子 (専従)



**地域の活性化と
安全で安心して暮らせる
地域づくり**

石川県町長会
会 長 杉本 栄蔵
(中能登町長)

新年あけましておめでとうございます。
皆様方には、輝かしい平成23年の新年を清々しくお迎えのこととお慶び申し上げます。
本年も、県内各町の振興発展と住民福祉の向上に決意新たに取り組みますので、力強いご支援とご協力をお願いいたします。
さて、国の政権交代から一年余。
昨年的一年間、私たちは、様々なところで、世界経済のうねりの中での、あるいは、世界的な歴史の転換点での日本という国のありようを実感してきたように思います。
身近なところでも、景気低迷や雇用不安、少子高齢化と人口減少、気象変動や環境問題など、将来に閉塞感を覚える深刻な問題が横たわっていることを感じるところでもございますが、われわれ地域社会においては、それぞれの地域の活性化に向けて、その独自性を発揮しつつも、地道な創意工夫をもって、日々の行政運営に邁進すべきと考えております。
また、そのためには、地域の企業や住民の方々との連携が極めて重要と考えます。
石川労福協並びに関係各位におかれましても、自立する地域行政のため、安全で安心して暮らせる地域づくりのため、今後ともより一層のご協力とご支援を切にお願いするものでございます。
結びに、本年卯年が皆様方にとって健康で幸多い飛躍の一年でありますよう心よりお祈りいたしまして、年頭のご挨拶といたします。



**「連帯・協同でつくる
安心・共生の福祉社会」に
向かって**

労働者福祉中央協議会
会 長 笹森 清

新年明けましておめでとうございます。
今年こそ、希望もてる社会への扉を開く年にしたいと思えます。それは、何よりもまず生きること、働くことへの希望であり、次世代を生き育てる希望です。
時代は市場万能主義に変わる新しいパラダイムへの転換を求めています。産みの苦しみの中で閉塞感も漂っています。「貧困の連鎖」「無縁社会」、3万人を超える自殺者…、こうした現実から真正面から向き合い、人と人との絆の再生・地域の活性化、本当に困った人たちのためになる運動、社会改革につなげていけるか、私たち労働者福祉運動の真価が問われています。
昨年は改正貸付金業法の完全施行を実現し、司法修習生の給費制問題でも貸与制導入を1年延期するという成果を上げました。何よりもこの運動を通じて、高い志と正義感を持った次代の法曹の担い手が育っていったことは、大きな社会的財産と言えます。これからは幅広いネットワークとの協働で、“必ず答えを出す運動”に取り組んでいきます。
また、生活困窮者等に対する寄り添い型の支援として政府の「パーソナル・サポート・サービス」モデル事業が始まり、沖縄をはじめいくつかの地域で労福協もその一翼を担っています。ライフサポート活動とも目ざす方向は同じであり、しっかりと成果をあげながら制度化につなげていきたいと思えます。
2012年には国際協同組合年を迎えます。国連が協同組合の役割を重視し、世界に協同組合の育成・普及を呼びかけているのです。私たちにとっても、またとないチャンス。共助をベースに「新しい公共」としての役割をどのように担えるのか、大いに議論し、協同組合の社会的存在感や価値を高めていくではありませんか。そして、労働組合と協同組合が、車の両輪としてともに運動するという関係づくりも必要です。
今年も、その足固めをする年でもあります。「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」に向かって、ともに前進しましょう！

新年あけましておめでとうございます。今年もご支援ご協力をお願いします。

- | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|---------------------------------------|---|---|--------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|--|---|---|--|--|--|
| 加賀地域ライフ・サポートセンター
会 長 黒谷 治夫
事務局長 河野 真弘 | 小松ブロック運営委員会
委員長 紺谷 充弘
事務局長 安村 裕之 | 能美ブロック運営委員会
委員長 富田 航
事務局長 山下 秀信 | 小松・能美地域ライフ・サポートセンター
会 長 庭田 茂男
事務局長 辻 洋志 | 白山・野々市地域ライフ・サポートセンター
会 長 油 省三
事務局長 福村 滋 | 西ブロック運営委員会
委員長 浅野 正
事務局長 鈴木 隆史 | 南ブロック運営委員会
委員長 柚木 稔
事務局長 北井 道夫 | 東北ブロック運営委員会
委員長 曾谷 修
事務局長 久富 象二 | 金沢地域ライフ・サポートセンター
会 長 綿 征一
事務局長 谷内 英明 | 河北地域ライフ・サポートセンター
会 長 釜井 誠次
事務局長 安江 秀和 | 羽咋地域ライフ・サポートセンター
会 長 前田 武志
事務局長 上田 清春 | 七尾・鹿島地域ライフ・サポートセンター
会 長 野田 昭一
事務局長 井村 幸喜 | 輪島・穴水地域ライフ・サポートセンター
会 長 上野 正剛
事務局長 萬亀 弦治 | 珠洲・能登地域ライフ・サポートセンター
会 長 宮藤 祐健
事務局長 加藤 政道 |
|---|--|---------------------------------------|---|---|--------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|--|---|---|--|--|--|



創立 10 周年 「ご愛顧に感謝、これからも 多くの人に生活応援」

北陸労働金庫石川県本部
本部長 嶋垣 利春

2011年明けましておめでとうございます。昨年は、会員各位をはじめ皆様方には労金運動、事業推進に深いご理解と多大なご協力を賜り、心から感謝と御礼を申し上げます。

本年は「うさぎ」年にあたります。うさぎ年生まれの方は、おとなしく、しとやかで、上品な生活を望み、決して攻撃的、「争い」をすることはめったにしないと聞きます。

また、今年は、日常生活に直接影響を及ぼす統一地方選挙の年であり、「うさぎ」とは裏腹の「争い」、「戦い」の年の幕開けであります。こうした選挙は私たち働く者や生活者にとってとても重要で大切な選挙であると思っています。

さて、北陸労働金庫は10月に創立10周年を迎えます。すでに会員皆様や協力団体皆様のご協力を賜りながら「ご愛顧に感謝、これからも多くの人に生活応援」をキャッチフレーズに10周年キャンペーンに取り組んでいます。是非、この期間中に、より一層のご利用をいただきますようお願いいたします。

更に、新年早々でございますが26年間、大変お世話になりました金沢西支店が閉店致します。新たに金沢西支店と本店営業部が統合され、石川の顔として、北陸労働金庫の拠点、本丸としてより一層のサービスの提供、より一層快適で安心してご利用いただける店として1月17日リニューアルオープン致します。これまで以上に皆様の期待に応えるべき役職員一丸となって頑張っていく所存でございます。

また、2012年4月、創設を目処に取り組んでまいりました「日本労働金庫」全国合併の件ですが、これまで会員各位、協力団体をはじめ多くの皆様のご理解とご協力を賜り、各種会議で議論をいただけてまいりましたが、諸々の要因で「合併」を延期、断念することになりました。今後につきましては早々に会員、皆様への説明をと考えております。いづれにいたしましても、これまで皆様にご足労をおかけいたしました事に心からお詫び申し上げます。

これからも「北陸労働金庫」といたしまして、より一層気をひきしめ勤労者皆様の生活応援、福祉金融機関として社会的使命を果たしてまいりたいと思っています。

最後に、会員、協力団体皆様のご健康とご多幸をご祈念申し上げ、新年のご挨拶と致します。



「組合員の全労済」を めざして

全労済石川県本部
本部長 本田 和雄

新年あけましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、石川共済(全労済石川県本部)が創立50周年を迎え、記念事業として組合員、協力団体への感謝の活動、地域交流イベント、社会貢献活動、記念拡大キャンペーンなどに取り組んできました。創立以来、幾多の困難を乗り越えながら発展できましたのは、ひとえに労福協をはじめ協力団体、組合員の皆さま方のご支援、ご愛顧の賜と心から感謝申し上げるしだいでございます。

全労済を取り巻く情勢は、団塊世代の大量退職、少子高齢化の急速な進行や2010年4月の保険法施行など、消費者保護や健全性基準の厳格化に向けた法整備等がすすめられ、大きな変化に直面しています。

こうした中、組合員からの支持と信頼に応えられる協同組合組織として、質の高い(良質な)経営・事業活動の実現を目指し、激変する環境と実績減少にも対応する事業・経営構造への転換などをおこなうために、中期経営政策(2009年度～2013年度)に取り組んでいます。

これからも、全労済の理念である「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」を高く掲げ、組合員の皆さまへ最良の品質を提供し続けることにより、社会的な責任と役割を果たしてまいります。

最後になりましたが、皆さま方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げますとともに、全労済に対する一層のご理解、ご協力をお願い申し上げ、新年のご挨拶といたします。

あけまして

おめでとーうございませう。

お子様の夢をお手伝いします!

創立10周年記念
教育ローンキャンペーン実施中
2011年7月31日まで

無担保

キャンペーン最優遇金利
変動 **1.9%** ~ 年2.6%

◆ご融資額 最高1,000万円
◆ご返済期間 最長15年(据置期間含む)
◆ご返済方法 毎月返済または、毎月返済・ボーナス返済の併用
※保証料0.5%が別途必要です。
※2010年12月1日現在適用中。
※審査の結果ご希望に添えない場合もございますのでご了承ください。

詳しくは、最寄りの(ろうきん)までお問い合わせください。

信頼のこころで築く。
輝く未来へつながる。

全労済は、勤労者生活安定を目的として、1961年に設立。以来、一人ひとりの生活に寄り添い、社会貢献。今年創立50周年を迎え、新たなスタートを切りました。入会費無料、専任の相談員があなたの暮らし、働きをサポートいたします。

石川共済	福井共済	富山共済	金沢共済
福井共済	福井共済	福井共済	福井共済
福井共済	福井共済	福井共済	福井共済

全労済石川県本部 (石川県勤労者生活安定協会)
〒920-8854 石川県金沢市西馬場1-12-22
TEL: 076-223-4398
URL: <http://www.zenrosai.coop/>



安定した事業運営と勤労者の生活支援の一翼を担う

(財)石川県労働者信用基金協会
理事長 坂本 哲治

新年明けましておめでとうございます。

新たな年を清々しくお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、石川県労働者信用基金協会(石川労信協)に対しまして深いご理解と心温まるご支援・ご協力をいただき、厚く感謝申し上げます。

石川労信協は、今日の勤労者の厳しい経済情勢や雇用環境等の中にあって、「労働者の生活支援」の一翼を担うという事業目的達成に向けて邁進しています。

昨年の事業状況は、今日の世相を反映してか、弁護士・司法書士受任による自己破産・民事再生・調停を理由とする代位弁済や多重債務による延滞での代位弁済の件数・金額が増えましたが、お陰様をもちまして、ほぼ順調に推移しています。

一方、当面する課題として議論している保証機関としての継続問題と新公益法人制度申請問題に関しては、先人が築き上げてきた労福協運動の精神を踏まえるとともに、勤労者の生活支援となり得る保証機関として安定した事業運営に努め、石川県内の労働者福祉運動の一翼を担っていくための誤りなき選択をすることとしています。

最後になりますが、皆様方のご健勝とご多幸をご祈念申し上げますと共に、旧年にも変わらぬご指導・ご鞭撻をお願い申し上げます、念頭のごあいさつといたします。



協同組合の原点を見つめて

石川県生活協同組合連合会
会長理事 横山 和男

新年あけまして、おめでとうございます。

旧年中は労福協はじめ各事業団体、自治体の皆様にはご厚情を賜り、心から御礼申し上げます。

さて昨年は、生協連会員の石川県勤労者共済生協が50周年を迎え、2000年3月に3つの地域生協が合併して誕生したコープいしかわが10周年を迎えました。方や、町民総意でつくられたコープやまなかが60年の歴史に幕をおろしました。しかし、生協運動の輪は県内各地に広がり、生協連加盟の生協組合員は34万人を超えています。安心・安全の商品の提供や食の安全・消費者行政・大規模災害対応・環境・平和など組合員の暮らし全般に貢献できる生協へと努力していくことがますます重要になってきております。

さて食の安全分野では、食の安全・安心確保に関する条例づくりのため、昨年は消団連とともに学習をすすめました。今年も条例制定に向け、さらに取り組みを進める所存です。

また、この1月には消費者庁・全国消団連共催で消費者の安全・安心確保に向けた地域の消費者行政の充実・強化を図るために「地方消費者グループ・フォーラム」が金沢で開催されます。皆様のご支援、ご協力をいただきながら取り組みを進めて行きたいと存じます。

生協連は県内連帯の強化と交流を強め、消費者組織として社会的役割を發揮するとともに、本年も地域の信頼と期待に応えうる運営に努めてまいりたいと思います。何卒、ご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

財団法人 石川県労働者信用基金協会

金沢市西念3丁目3番5号
TEL (076) 261-4347

恭賀新年



石川県生活協同組合連合会

金沢市西念3丁目3番5号
TEL (076) 264-0550

これからの行事予定

1月5日 水	労福協・連合石川 [2011 新春の集い]	金沢都ホテル	1月19日 水	緊サポ自治体訪問 [小松・能美・川北・白山・野々市]	
〃	平和運動センター [2011 新春の集い]	金沢スカイホテル	〃	輪島・穴水 LSC [新春の集い]	高州園
7日 金	連合かなざわ・金沢 LSC [NEW YEAR 旗開]	労済会館	20日 日	第31回ユニトラ協力委員会	フレンドパーク石川
8日 土	石川県民主・友愛連絡会 [新春の集い]	金沢都ホテル	〃	労金会員代表者会議	北陸会館
12日 水	アジア・アフリカ支援米発送式	金沢市役所前	25日 火	労金県本部合同推進会議	片山津
〃	白山・野々市 LSC [新春の集い]	白山市学習センター	27日 木	七尾・鹿島 LSC [新春の集い]	七鹿会館
13日 木	労金金沢西支店感謝の集い	金沢スカイホテル	〃	中部労福協第4回幹事会 (~28日)	和歌山
〃	緊サポ自治体訪問 [珠洲・能登・穴水・輪島]		30日 日	河北 LSC [退職前セミナー]	
14日 金	緊サポ自治体訪問 [志賀・七尾・中能登・羽咋]		2月22日 火	第6回理事会	フレンドパーク石川
〃	地方消費者グループフォーラム	労済会館	25日 金	LSC 代表者会議	〃
18日 火	緊サポ自治体訪問 [宝達志水・かほく・津幡・内灘]		〃	労福協研究者集会	〃
〃	連合石川総理事会	フレンドパーク石川			



**スポーツで職域・地域の
交流やふれあいを深めよう!**

石川県勤労者体育協会
会 長 中谷 喜和

新年あけましておめでとうございます。
自治体をはじめ競技団体、企業、労働団体、勤
体協役員の皆様方には、事業の推進に温かいご支
援ご協力を賜わり、心から感謝を申し上げます。

昨年は、政治面では菅首相誕生が大きな出来事
ですが、日航の破綻や宮崎県口蹄疫等も含め経済・
雇用情勢は依然として厳しい状況が続いています。

一方、スポーツ界においてはサッカーW杯で岡
田ジャパンが決勝トーナメントに進出、惜しくも
PK戦で8強を逃がしたことや、バンクーバー冬
季五輪で浅田・高橋両選手をはじめスケート陣が
銀3銅2を獲得、私達に夢と感動を与えてくれた
年でした。

スポーツで培った豊かで活力ある心身は、高齢
化社会の生活に不可欠でありかつ重要な役割を
担っていると言えます。勤体協は、これからも職
域や地域に広くスポーツの普及拡大を図り、誰も
が楽しく参加出来る各種大会を開催し、スポーツ
を通して勤労者の交流やふれあいを深めてまい
ります。

また、各地域ライフ・サポートセンターのスポ
レク部会とも連携し、生涯スポーツやスポレク部
門の育成・継続・定着を図ってまいります。

最後になりましたが、皆様方のご健勝とご多幸
をご祈念申し上げ新年のご挨拶とさせていただきます。



**第 60 回勤美展を経て
文化・芸術に
これからも貢献**

石川県勤労者文化協会
会 長 大樋 長左衛門
(文化功労者)

新たな年を迎え、皆様とともに活力ある文化活
動に取り組みたいと思います。

昨年は、石川県勤労者文化協会と石川県が主催
する「第 60 回勤労者美術展」を成功裏に終えること
ができたことを皆さまに感謝し、ともに喜び合いた
いと思います。

1951年に石川県が始めた「展覧会」は、第 18 回
から 1966年に創設された「勤文協」に移り、その後、
石川県と共に「勤労者美術展」として今日に至りま
した。

この間、石川県の美術・文化の裾野を広げ、制
作や発表の場を提供し、美術愛好家の育成におい
ても一定の役割を果たしてきたと思っています。

一方で、勤文協の作品はハードルが高い!と言
うご意見もあり、余暇を楽しんでいる方々の作品
やものづくり初心者が出展できる環境を整え、文
化・芸術にこれからも貢献したいと考えています。
最後に、国の緊急雇用創出事業で勤労者美術展の
60回記念誌を発行しました。ご協力をいただいた
皆様はこの場をお借りして感謝申し上げます。

**2011 第45回 石川県勤労者
冬季体育大会**

開催地	開催日	種 目	場 所	申込締切日
金 沢	平成23年2月 6日(日)	卓 球	金沢市総合体育館	1月24日(月)
金 沢	平成23年2月 6日(日)	バスケットボール	額谷ふれあい体育館	1月24日(月)
白 山	平成23年2月13日(日)	バスケットボール	白山市若宮体育館	1月24日(月)
金 沢	平成23年2月13日(日)	バスケットボール	いしかわ総合スポーツセンター	1月24日(月)
白 山	平成23年2月20日(日)	バスケットボール	白山市若宮体育館	1月24日(月)
金 沢	平成23年2月20日(日)	バスケットボール	金沢市中央体育館	1月24日(月)
内 灘	平成23年2月27日(日)	バスケットボール	内 灘 体 育 館	1月24日(月)
白 山	平成23年3月20日(日)	バスケットボール	白山市若宮体育館	1月24日(月)
金 沢	平成23年3月20日(日)	バスケットボール	いしかわ総合スポーツセンター	1月24日(月)
金 沢	平成23年3月27日(日)	バスケットボール	金沢市中央体育館	1月24日(月)
金 沢	平成23年3月 6日(日)	ソフトバレーボール	いしかわ総合スポーツセンター	2月21日(月)
白 山	平成23年3月13日(日)	バドミントン	白山市若宮体育館	2月28日(月)
金 沢	平成23年3月13日(日)	卓 球 (3人3W)	金沢市総合体育館	2月28日(月)



主催 石川県勤労者体育協会
後援 北国新聞社、石川県教育委員会、石川県労働者福祉協議会
TEL 076-223-6675 FAX 076-223-6775

医療タイプ 月々1600円で入院日額6000円。日帰り入院から最高180日保障。
0120-593-244

**第41回石川県勤労者
早春書画・生花展**

と き 平成23年1月27日(木)～1月30日(日)
午前10時～午後6時(最終日午後3時まで)

ところ アートシアターいしかわ
金沢市片町2丁目2番5号
ラプロ片町7Fギャラリー I

- ◇主 催 石川県勤労者文化協会
- ◇後 援 北国新聞社、石川県労働者福祉協議会
- ◇作品搬入 書画の部
 - ・1月22日(土)～23日(日) 午前10時～午後4時
 - ・ラプロ片町アートシアター 7F 会議室
- 生花の部
 - ・申込締切 1月20日(木)
 - 石川県勤労者文化協会(郵便・電話・FAX可)
 - ・1月26日(水) 午後3時～午後6時(本展会場へ)
 - (注)お花の管理は各自です
- ◇問合わせ 石川県勤労者文化協会
TEL (076) 231-1746 FAX (076) 231-1731
金沢市西念3丁目3番5号(フレンドパーク石川3F)



哲学の貧困から 豊かな社会へ

NPO法人
いしかわ介護ボランティアセンター
代表理事 澤 信俊

新年あけましておめでとうございます。

21世紀に入って10年が過ぎました。この間、私たちを取り巻く経済、政治、社会環境の変化の速度は、一段と速まり、何もかもがデジタル的な価値判断に支配されてしまった様相を呈しています。マスメディアが伝える世論調査の結果から、人間の意識はこんな簡単に変わるものだったのかと驚きを感じます。

構造改革の時代が始まった1980年代から数えて30年の月日がまばたく間に過ぎようとしています。私たちは、規制緩和が希望と繁栄を国民生活にもたらすという幻想を懐き、今日では脆くもそれは打ち砕かれました。

若年者の雇用、所得配分と再配分、医療、介護、福祉、年金、教育などで広がる格差問題は、この国が哲学の貧困国に凋落した結果おこったのだと思っています。とくに政治、経済、社会の根本となる哲学が失われてしまいました。それはテクノロジーとデジタル的思考が優先され、アナログ的人間学を喪失した結果といえます。テクノロジーとデジタル的思考では解決できないのが、人間の暗黙知であり、哲学なのではないでしょうか。

私たちの日々の暮らしが、とくに若者や子ども達にとってこれからも安全で安心して続けられるよう、政治に哲学、経済に哲学、社会に哲学が復権され、正義と寛容が尊重されるような日が一日も早く実現することを願っています。残された時間は、あまり多くはないのです。

労働者福祉協議会が先頭に立ち、この正義心と寛容心を大切にして、思いやりのある福祉社会づくりに貢献されることを祈念いたします。



希望と安心の社会づくり

連合石川
会長 上田 弘志

新年あけましておめでとうございます。

わが国経済は、堅調な輸出に支えられ回復の兆しを強めていましたが、想定を超える円高が進行するなど、先行きへの不透明感が強いものとなっています。一方、労働者の雇用と生活は進行するデフレ経済の下で、格差が拡大し低年取層が大幅に増大するなど、一段と厳しさが増えています。失業率は5%台と高止まりしており、特に若年者雇用の状況は厳しく、今春の新卒採用も過去最悪になることが懸念されています。

今、日本でも年収200万円以下の労働者が、1千万人を超えました。貧困と格差は決して遠い世界の問題ではなく、私たちの身近な課題です。貧困・格差社会を克服し、ディーセントな働き方を求めることは、私たち労働運動の責務です。労働組合は社会に不可欠なインフラとして、就労者の8割が賃金を得て生活しているこの日本で、労働運動が果たさなければならない役割と責任は極めて大きいものがあります。

また、今年も選挙の年です。4月には統一地方選挙が執り行われます。連合石川は地域における連合の政策制度の実現を図るとともに、安全・安心の社会の実現、まじめに働く者が報われる地域社会の実現に向け、連合石川推薦候補の完全勝利をめざして、組織の総力を挙げて頑張ります。連合石川は公正と連帯を重んじる社会の転換を図るため、労働組合の役割と責任を自覚し、希望と安心の社会の実現に向けて取り組んでいきます。

石川労福協をはじめ、各事業団体の益々のご発展を祈念し、連合石川に対するより一層のご支援とご協力を重ねてお願い申し上げ、新年のご挨拶とします。

フレンドパーク石川 防火講習会と互助会総会

〈防火講習会〉

12月9日(木)会館「フレンドパーク石川」を運営する石川労福協は、会館入居者30名の参加により防火講習会を開催した。

冒頭、会館自衛消防隊長である宮下亮石川労福協専務理事が日頃の防災・防火に対する理解と協力に謝辞を述べた。

講習では、講師に招いた金沢市



金沢市西消防署
中西司消防士長



防火講習会

にビデオ上映のあと講演を行った。

中西消防士長は、「今回は実際の消防機器の操作訓練はないが、火災のうち約6割が初期消火で鎮静しており初期消火が重要である。

日頃から、消火器、消火栓の操作を熟知しておくことが大切。また、放火による火災が増加しており、建物周辺に燃えやすいものを置かない対策も大事である。」と講演し、参加者らは防火に対する認識を深めた。

〈互助会総会〉

12月28日(火)フレンドパーク石川に勤務する者で構成する「フレンドパーク石川互助会」の総会が、2階ホールにおいて、42名の出席で開催した。

総会では、会館人事の異動による役員改選が行われた後、新会長の宮下亮石川労福協専務理事が挨拶した。

引き続きの昼食会では、会員の自己紹介やゲームで相互の交流と親睦がもたれ、和やかな雰囲気の中で最後に天満信夫会員が締めくくり仕事納めとした。



和気あいあいゲームをする会員

加賀LSC

日帰りバス旅行

12月4日(土)加賀地域LSCは今年で4回目となる日帰りバス旅行を30名の参加で行った。

今年は、「京橋花月鑑賞(吉本新喜劇・京橋ヴァリエティ)」として、午前7時に加賀市を出発し、目的地の京橋花月に向かった。

会場の席は3~6列目と舞台が近く、出演者の表情が良く見え、劇場ならではのアドリブやネタもあり、テレビで味わえない臨場感で抱腹絶倒の時間を過ごし帰路についた。

今回、目的地を一箇所に絞ったバス旅行としたが、昨年より多い参加人数と高齢者の参加もあり、幅広い層で楽しめるものとなった。



親子クリスマスケーキ作り

12月11日(土)「セミナーハウスあいりす」にて、洋菓子店「ブルーランシェリーカナエ」店主の金栄市郎さん親子を講師に招き「親子クリスマスケーキ作り」を12組(25名)が参加して開催した。

黒谷治夫加賀地域LSC会長の挨拶の後、早速、金栄講師によるケーキづくりの実技講習が行われた。

思わず歓声が上がるほどの金栄講師のプロの技での講習を受けながら、参加者が思い思いにオリジナルケーキ作りに励んだ後、それぞれ自分の出来栄に満足気の様子で、「大きく素敵なケーキができて嬉しい! また来年も企画してください!」という声があがるほど、楽しいケーキづくりとなった。



熱心に調理する参加者(講師:右)

加賀地域LSC 角谷 悠

七尾・鹿島LSC

全労済50周年記念事業「親子映画鑑賞会」

11月14日(日)サンビーム日和ヶ丘で、親子約200名が参加して「ハリーポッターと謎のプリンス」を楽しんだ。この「親子映画鑑賞会」は、全労済50周年記念事業として七鹿LSCが企画して行ったもので、参加者は、ドキドキする展開にハリーポッターになった気分で見事にスクリーンに引き込まれながら時間も忘れるほどであった。また、この後すぐに封切られる続編を早く観たいねーとの興味わくわくの声も上がっていた。

上映後はお楽しみ抽選会



も開催され、豪華景品当選者は大変喜びの表情であったが、当たらなかった方にも全労済とLSCからの心ばかりの粗品が手渡され、映画と合わせにこやかに帰路につかれていた。

会場ロビーでは全労済の保障相談コーナー、エコキャップ収集や車イス募金のお願いなど継続して取り組んでいる活動の啓蒙も行なった。

善意のタオルを贈呈

社会貢献活動の一環として、福祉施設の方々に少しでも役立てていただければと取り組んでいる「未使用タオル収集キャンペーン」8年目となる今年も春から秋にかけて展開、労組組合員をはじめ労組OB、一般の方々から約1,500本の善意が寄せられた。

11月12日(金)に管内の特別養護老人ホーム7カ所に贈呈、訪れた施設の利用者の方からは笑顔で迎えていただき、各ホームの施設代表の方々からは、「利用者の入浴時をはじめ、色々使えるので重宝しています。」との感謝の声をいただいた。

ひとり一人の気持ちが積み重なってできた大きな取り組みである。今後も地域において活動の輪がさらに広がって、みんなが暮らしやすい社会になっていくことを期待したい。

七鹿地域LSC 事務局長 井村 幸喜



タオルを贈られる入居者

白山・野々市LSC

寄せ植え教室

白山・野々市地域ライフ・サポートセンターの文化部会は、12月18日(土)午前10時より、白山市労働会館2階のホールにおいて37名の参加で「寄せ植え教室」を開催した。

教室は、白山・野々市地域LSCの油会長より挨拶の後、早速、講師に迎えた「G&B 川端園芸」の川端善伸氏により進められた。

始めに、川端講師が、「用意した草や花の特性や、注意すべき基本事項」の説明をした後、参加者全員は、背の高い草花から順に配置して行くという基本事項を守りながら、それぞれの寄せ植えを楽しんだ。

与えられた草花は同じものだが、それぞれの個性が光り、独自の作品に仕上がった。

最後に、川畑講師から「基本的な手入れの方法や水遣りのコツ等」のアドバイスがあり、全員が楽しい時間を過ごした。

来年度もこのような教室を開催するので、今回参加できなかった人も、次は是非参加して楽しい時間を共有できれば良いと思う。

白山・野々市地域LSC 事務局長 福村 滋



真剣に説明を受ける参加者